



11・3憲法集
会
で
宣
伝
署
名
活
動
を
行
う
国
賠
同
盟
京
都
府
本
部
の
メ
ン
バ
ー



(581号付録)

京都版 第448号

2022年11月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
京都府本部

〒604-8832京都市中京区

壬生下溝町 51-41

(電) 090-8575-9851

fax 075-325-3863

E-mail info@kokubai-kyo
to.com

ホームページ <https://kokubai-kyoto.com>

～生かそう憲法 守ろう9条 11・3憲法集会開催！

11月3日円山公園野外音楽堂で、
○軍拡ではなく、いのちと暮らし、環境を守ろう！
○主権在民のあたりまえの政治を実現しよう！
○「生かそう憲法 守ろう9条」
11・3憲法集会 in 京都」
が開催され1600人が参加しました。

主催は、憲法9条京都の会と9条改悪NO！全国市民アクション・京都です。

講演は、9条の会事務局長・東大名誉教授の小森陽一さんと、演題は「今こそ輝かせ 憲法9条」不正義と暴力をのりこえてです。

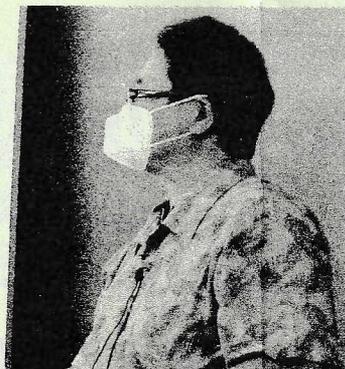
小森陽一さんは、「岸田政権は、かつてない規模の軍事費で敵基地攻撃能力を持ち、戦争に足を踏み入れようとしている。これを可能にしたのが安倍政権時の安保法制だ、この時、国民の声に押されて、野党は共闘に踏み出した。今わたしたちの力で何としても9条を生かす政府をつくらないといけない」と強調しました。

参加者は、京都市役所前まで憲法ウォークを行い市民に広くアピールしました。

国賠同盟京都府本部からも原田 完会長先頭に多数参加し、宣伝や署名活動などを行いました。

第37回総会・第一部の本
庄豊先生の特別講演(要
旨)

「治安維持法犠牲者名
簿・京都」出版に向け
てのとりくみの意義―
山本宣治「周辺研究」
を超えて―



第37回国暗同盟京都府本部総会
で特別講演を行う本庄豊さん

(前号からつづく)

〈雑誌『前衛』(2020年
4月号)の本庄論文の読者か
らの感想に学ぶ〉

「私の居住している(兵庫県)

豊岡市出石町出身の故斎藤隆
夫は(治安維持法改悪)追認
議案に断固反対し、戦後は国
務大臣として現憲法公布に副
署した勇氣ある立憲主義政治
家の側面はほとんど顧みられ
ず、当地の斎藤隆夫顕彰組織
ももっぱら自民党系のもので
あり、私も含めて民主運動側
の斎藤隆夫顕彰の取り組みは
微弱なままでした。本庄氏の
指摘する(治安維持法)「死
刑法化反対の170議員」の
中に斎藤隆夫もいたのです。
斎藤隆夫はその後も大政翼賛
会の流れに組せず、戦後の公
職追放を免れいち早く「立憲
保守党」創立の一員となって

います。本庄氏の問題提起は
戦前戦後の民主主義運動の分
水嶺をどこにもとめるのかの
再検討に続くのではないかと
思います。

私を含めて今までの山宣研
究は、山宣が何を言ったのか
を資料的に明らかにする点に
重点が置かれてきたし、大き
な意味があった。しかし、山
宣の周辺の人々が彼をどうみ
ていたのか、当時の新聞など
メディアが山宣をどう記録し
たかなどは資料としてはあま
り注目されてこなかった。と
りわけ、山宣暗殺後の無産政
党や立憲民政党の弔辞には立
憲主義の危機が織り込まれ、
山宣との距離の近さが感じら
れる。

〈川崎安之助代議士(立憲
民政党)の国会での山宣追悼
演説〉(傍線は引用者)

―私は山本宣治君と選挙区
を同じくするが為に、諸君の
御許しを得まして一言哀悼の
辞を述べたいと思います。山
本君は昨日当議場に居られた
のであります。然るに僅かに
4時間ののちに於きまして、
只今若宮君よりお延べになっ
た如く、不慮の凶刃に斃れた
のであります。その経緯は既
に若宮氏よりお延べになった
如く、実に学殖富贍なる所の
好紳士であります。その資性
は温厚篤実の人であります。
実に学究として申し分のない
所の方であったのであります。
この人が一朝凶刃に斃られ
た、吾々はその理由の何れに
在るかと言ふことを知るに苦
しむのであります。山本氏は
決して個人として人の怨みを
受けるような人でないと云う
ことを、私は固く信ずるもの

であります。

伝うる所によれば、山本氏の加害者は詰問状なるものを残しているようであります。

その内容を見れば、既ち山本氏が衆院議員としてとられた所の行動に対して、数個の点を挙げて詰問して居るようであります。私はこの事項が果たして真なりや否や、そういう事を今ここで詮索する必要はないと思えます。併せながらこの中には或いは誤解を受け、或いは誣妄に類する所の事もあると思えます。

そう云う事は兎に角に致しまして、山本氏は既ち職務の為に斃れたのであります。衆議院議員としての議会開会中に殺害された所の人は、議会開けてより未だ無いように思っております。寧ろ山本氏が嚆矢であるのであります。この点に於きましては、私共は

実に山本君に対して同情の念に堪えないのであります。

(拍手) 併せながら男子苟も確乎たる信念を持って国務の上尽瘁する以上は、仮令誤解にせよ、誣妄にせよ、職務の為に斃ると云う事は、これは一つの会心の事であろうと思えます。(拍手)

山本氏は前途なお春秋を有つて居る所の人であります。その年は数え年僅か四十一と云う壮年であります。今日この人を失ふと云うことは、実に我国憲政の為に吾々は惜しまなければならぬ事であろうと思えます。併せながら所謂人は一代、名は末代であります。今や山本君の形骸は北芒一片の煙となるも、その芳名は永く千載に朽ちざる事と存するのであります。(拍手) この点から考えますれば、山本君の霊も、また以て地下に冥す

ることが出来るだろうと思えます。(拍手) 謹んでここに弔辞を述べます。(拍手)

『治安維持法犠牲者名簿・

京都』編集の中心を担われている佐藤和夫さんからは、拙著『山本宣治に学ぶ』に対して次のようなメールをいただいたので紹介しておこう。メールを読みながら、時代の風を真正面から受けながら研究することの意味と意義を確認することができた。

『山本宣治に学ぶ』のオリジナリティをへ山宣の孤高イメージの見直しにあるとした点に大変共感しています。また、生物学者としての山宣の特異性に注目した小田切先生の切り開いた側面を再提起した点にも共感しました。山宣の刺殺を「立憲主義の危機」ととらえた当時の野党との共同を探求できなかった

「福本主義(編集部付記:残滓)の克服」の不十分さなどなど、「歴史に学ぶ」こと必要を痛感しています。

生物学者としての山宣を研究してきた小田切明徳先生からは二〇一二年に顕彰と研究をめぐる苦しい心中を綴ったお手紙をいただいた。私信なので公開は控えるが、「本庄さんはこれまで通り、かわらずにご研究を進めて下さい」と文末に記されていた。二〇

二二年夏に高知県立文学館を訪問した。戦前のプロレタリア詩人・横村浩とともに、山宣の親戚であり、同士でもあったタカクラ・テルが大きなブラスで取り上げられていた。田切先生は孤軍奮闘していたのだと、今さらながら気づいた。

(つづく)





治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟
近畿ブロック経験交流集会

「日本・国・憲法」の困難と希望
 植松 健一 先生

国賠近畿ブロック
 会議に参加して

副会長・佐藤和夫

11月8日〜9日、和歌山市で菟田事務局長と一緒に参加した国賠同盟近畿ブロック経験交流集会の感想

「神々は細部に宿る」という格言を思い起こす。

もちろん中央本部から各県本部にそれぞれの国賠署名の取り組み目標と年間計画など10項目の到達状況の報告が各事務局長からありました。他県と比べて我が府本の取り組みの実態にも反省させられます。彼我の差は、戦闘性の不足かなどと思いがいたり少し鬱っぼくなりながら、翌日の分散会にのぞ

みました。

分散会では上からテーマをきめず、まずはフリートークでと誘い水。

初めに出たのが、年会費問題と減免制度問題でした。会員拡大で直面する切実な意見が出ました。「不屈」機関紙の活字が小さい、会員の年齢構成からすれば、細かい字が詰まっているのは、苦痛だの意見もありました。

内向きの議論だけではなく、内向きの議論だけではなく、どのように「打って出ているのか」の討論に方向が変わり「千代子」映画の上映運動が生き生きと報告されました。行政の後援を得た、大学などの門前でピラをまいた(滋賀)など学ぶべき点がありました。

自らの加盟体験を語り、来年には「長谷川テル」の平和の碑を！

詩人会議に参加している女性、奈良の旧女子師範学校のエスペラント語の運動をしていて、治安維持法で検挙され放校となった「長谷川テル」に興味を持ち、国賠同盟に出会ったと自らの国賠加盟の体験を報告し感動をよびました。こうした運動の現場に、国賠運動の神髄があると実感した交流会でした。

